

先進予防型遠隔医療を地域に根付かせるための課題

予防促進のための
社会技術の開発

高齢者を含めて持続的な社会参加を可能とするまちづくり
多数の住民、無関心層の行動変容、それらの継続のための
地域ウェルネスステーションのあり方(医院-薬局連携モデルなど)、インセンティブ策の構築、観光e-wellnessの開発

ビジネスモデルが成立する
健康クラウドの開発

基本概念は科学的根拠に基づくサービスコンテンツと
ソーシャルキャピタル
ガイダンスに基づく健康クラウドの開発と地域健康
サービスモデルの確立

サステナブルな予防事業
が成立するための
SBの活性化

全国レベルの健康サービス企業とSB協働パターンの構築
ITC機器 & サービスコンテンツの標準化、認証制度の構築

Wellness, ICT、まちづくり
& SBをキーワードとした
総合的人材育成

地域人材育成
首長、自治体職員
SBとしての民間・NPOに所属する住民(退職者、主婦など)

首長が積極推進したくなる
制度改革への挑戦

「エンパワーメント」を基本とした制度設計
インセンティブシステム(健康ポイント・健康401k)、
既存制度の見直しによるICT利活用促進の検討
介護保険地域支援事業、特定保健指導など

地域での高レベル
エビデンスづくり

社会全体に波及させることを想定したエビデンスづくり
出口戦略を明確にした研究が重要⇒世界への発信が可能